

**令和6年第4回 岩沼市議会定例会
一般質問通告一覧表**

質問 順番	議席 番号	議員氏名	質問事項及びその要旨	答弁者
1	7	高橋光孝	<u>震災経験・対応の伝承について</u> 1. 震災の伝承について (1) 現在も勤務している職員中、2011年の東日本大震災を経験・対応した市職員の割合はどれくらいか伺う。 (2) 復興のトップランナーとして視察先に選ばれることも多く震災対応に注目を浴びている中で、当時の対応について経験のない職員に伝承できているのか伺う。 (3) どのような方法で伝承しているのか伺う。	市長
			<u>市職員の離職と待遇について</u> 1. 市職員の離職と待遇について (1) 市職員の離職者数、離職率、平均勤務年数について伺う。 (2) 厚生労働省の21世紀成年者縦断調査の退職理由で男性は「給与・報酬が少なかったから」が最も多く、女性では「会社の経営方針に不満を感じたから」が最も多く、次いで「給与・報酬が少なかったから」が多い。県内市町村の職員数と平均給与月額（宮城県令和5年4月1日現在）によると、当市は仙台市を除く13市の中で11番目の水準である。給与月額の見直しをしてはどうか伺う。	市長
2	15	長田忠広	<u>教育行政について</u> 1. 学力向上の取組について 2007年に学校教育法が改正され、「学力の3要素」として「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」が定義されるなど、学力観の転換が図られ、この3要素をバランスよく育むことが、学校教育に求められるようになった。 令和6年6月定例会で学力向上の取組の質問に対して「市内の小中学校では、学力の3つの要素をバランスよく育てていくため、発達や特性等を踏まえた教育活動を行っております。」との答弁だった。そこで本市の具体的な取組を伺う。 (1) 学力の3要素に対する取組について ① 「知識・技能」向上の取組について ア 取組と成果を伺う。	市長 教育長

(同)	15	長田 忠広	<p>イ 今後の取組を伺う。</p> <p>② 「思考力・判断力・表現力等」向上の取組について</p> <p>ア 取組と成果を伺う。</p> <p>イ 今後の取組を伺う。</p> <p>③ 「主体的に学習に取り組む態度」を育む取組について</p> <p>ア 取組と成果を伺う。</p> <p>イ 今後の取組を伺う。</p> <p>(2) 本市の令和6年度全国学力・学習状況調査結果について</p> <p>① 結果をどう受け止めたか伺う。</p> <p>② 今回の結果を受け、今後どのように取り組んでいくか伺う。</p> <p>③ 学習のつまずきを解消する時間・期間について、どのように設定していくのか伺う。</p> <p>(3) 学力を全体で底上げしていくための対策について</p> <p>令和6年6月定例会で市長は「岩沼市全体の底上げをしていただきたい。」と答弁された。そこで本市の対策を伺う。</p> <p>① 学力向上を推進する中核的な組織を立ち上げてはどうか伺う。</p> <p>② 学校の実態を踏まえた学力向上推進プランを作成してはどうか伺う。</p> <p>③ 市内の小中学生の学習習慣と基礎学力の定着を目的として開催している「放課後学び塾」及び「のびやかwith学び塾」の取組と成果を伺う。</p> <p>④ 小学校でも放課後学び塾を開催し、基礎学力の向上を目指してはどうか伺う。</p> <p>2. 体力・運動能力向上の取組について</p> <p>全国体力・運動能力、運動習慣等調査は、2008年度より日本全国の小学5年生、中学2年生全員を対象として行われている。宮城県は令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果は、5年ぶりに全ての調査対象の合計点が昨年度を上回った。そこで本市の取組を伺う。</p> <p>(1) 令和5年度の体力・運動能力調査について、本市の結果と課題を伺う。</p> <p>(2) 令和5年度の結果を受け、令和6年度で取り組</p>	市長 教育長
-----	----	-------	--	-----------

(同)	15	長田 忠広	<p>んだ対策を伺う。</p> <p>(3) 県で取り組んでいる体力・運動能力向上センター事業について、本市との連携を伺う。</p> <p>① 体力向上コーディネーター巡回訪問について</p> <p>ア 本市としての取組と成果を伺う。</p> <p>イ 今後の取組を伺う。</p> <p>② 地域センター員による学校間連携について</p> <p>ア 本市としての取組と成果を伺う。</p> <p>イ 今後の取組を伺う。</p> <p>③ Web運動広場の取組について</p> <p>ア 本市としての取組と成果を伺う。</p> <p>イ 今後の取組を伺う。</p>	市長 教育長
			<p>認知症対策について</p> <p>高齢者福祉計画・介護保険事業計画には認知症対策の推進として、「認知症の理解促進に向けて啓発普及と認知症サポーター養成講座受講対象者の掘り起こしを行うとともに、地域で把握した認知症の方やその家族の悩み・ニーズを支援者をつなぐ仕組みである「チームオレンジいわぬま」を推進していきます。」とある。そこで本市の取組を伺う。</p> <p>1. 認知症に関する普及啓発や本人発信の支援について</p> <p>(1) 認知症サポーター養成講座の更なる展開や、認知症に関する知識及び認知症の人に関する理解を深める取組について</p> <p>① 青年期の方に対しての取組と成果を伺う。</p> <p>② 小中学校における取組と成果を伺う。</p> <p>(2) 地域において把握した認知症の人の悩みや家族の身近な生活支援ニーズ等と認知症サポーターを中心とした支援者をつなぐ仕組みづくりが必要と考えるが、これまでの取組について伺う。</p> <p>(3) ユマニチュードの普及について、一人でも多くの住民が認知症の人に対する適切な接し方を身につける効果的な技法として、「ユマニチュード」が注目されている。そこで、ユマニチュードの普及に取り組むべきと考えるが、見解を伺う。</p> <p>2. 認知症予防及び容態に応じた適切な対応について</p> <p>計画には「早期発見・早期対応にあたっては、一人一人の症状に応じた適切な支援につながるよう、認知症支援に関わる様々な機関と連携し、認知症ケ</p>	市長 教育長

(同)	15	長田 忠 広	<p>アパスの活用や地域包括支援センター等の相談窓口の周知を図っていきます。」とある。そこで本市の取組を伺う。</p> <p>(1) 早期発見・早期対応について</p> <p>① 認知症発症前には、認知機能の低下が始まっている期間（軽度認知障害：MCI）があり、この段階で発見できれば認知症への移行の予防や症状の進行の先送りが期待できると言われている。そこで、どのように対応してきたか伺う。</p> <p>② 認知症ケアパスをどのように活用してきたか実例を伺う。</p> <p>③ 地域包括支援センター等の相談窓口に行けない方への対応はどのようにしてきたか伺う。</p> <p>3. 家族等への支援・支え合いの地域づくりについて</p> <p>(1) 認知症地域支援推進員の活動と成果を伺う。</p> <p>(2) 認知症ピアサポート環境整備について</p> <p>① 令和5年度は月1回「かたり i オレンジカフェ」を開催した。今年度も取組んでいる。そこで、取組内容と成果を伺う。</p> <p>② 認知症の本人や家族（同居や遠くに住んでいる）等が、同じ経験をした方々との情報共有や様々なアドバイスを診断後早い段階で受けられるように、インターネットによる交流も含めた環境の整備が重要と考えるが、見解を伺う。</p> <p>(3) 認知症の方の行方不明対策について</p> <p>① 認知症高齢者等位置探索システム機器貸与について</p> <p>ア 取組内容と貸与及び稼働の実績を伺う。</p> <p>イ 現在使用している機器は手のひらサイズで若干大きいと思われる。もう少しコンパクトな機器に変更してはどうか伺う。</p> <p>② 認知症高齢者等見守りネットワーク事業「i あいメール」について</p> <p>ア 検索サポーターの登録状況を伺う。</p> <p>イ これまでの取組と今後の課題を伺う。</p>	市長 教育長
3	2	西塚 秀 市	<p><u>マイナンバーカードと各種証明書の発行の業務について</u></p> <p>1. 現在のマイナンバーカード交付枚数と保有率について</p> <p>(1) 令和5年度の交付枚数と保有率を伺う。</p>	市長

<p>(同)</p>	<p>2</p>	<p>西塚秀市</p>	<p>(2) 令和6年度の交付枚数と累計交付枚数及び保有率を伺う。</p> <p>2. 手数料を要する証明書等の交付件数について</p> <p>(1) 窓口業務の件数について伺う。</p> <p>① 市役所での自動車臨時運行許可を除く証明書交付件数を伺う。</p> <p>② 証明書発行業務を行っている外部施設及び証明書交付件数を伺う。</p> <p>③ 郵送による証明書交付件数を伺う。</p> <p>④ コンビニエンスストアによる証明書申請件数を伺う。</p> <p>⑤ 近年の窓口での交付とコンビニ交付の割合を伺う。</p> <p>3. 今後の窓口での交付手数料とコンビニ交付手数料について</p> <p>(1) 現在の窓口業務の交付手数料について伺う。</p> <p>(2) コンビニエンスストアによる交付手数料について伺う。</p> <p>(3) 窓口業務の交付手数料とコンビニ交付手数料の改正をしてはどうか伺う。</p>	<p>市長</p>
			<p>教育現場におけるICTの導入効果について</p> <p>1. 教育現場でのICT教育導入後の効果について伺う。</p> <p>(1) 教員の働き方についてはどの様になったのか伺う。</p> <p>(2) 導入後、改善を要する問題点はあったのか、また問題点に対してどのような対応、対策を行ったのか伺う。</p> <p>(3) 児童生徒に対する教育へのICT導入後の効果を伺う。</p> <p>(4) ICT教育について今後どのような取組を考えているのか伺う。</p>	<p>教育長</p>
<p>4</p>	<p>1</p>	<p>岡田みつえ</p>	<p>子育て支援について</p> <p>1. 子育て支援センターや保育所など子育て関連施設の環境整備について</p> <p>(1) 体調不良対策について</p> <p>① 緊急対策としてAEDの設置について</p> <p>ア 子育て支援センターや保育所での設置状況について伺う。</p> <p>イ 体調不良等の緊急対策としてAEDが必要であると考えますが、自動販売機を活用して</p>	<p>市長</p>

<p>(同)</p>	<p>1</p>	<p>岡田 みつえ</p>	<p>AEDを設置してはどうか伺う。</p> <p>ウ いざという時に使えることが重要であるが、各施設の職員への講習などの状況について伺う。</p> <p>② 緊急車両の出入りについて、どのように対応しているか伺う。</p> <p>③ 各施設の救護（静養室）について</p> <p>ア 設置の現況について伺う。</p> <p>イ 簡易ベッドやパーテーション等を準備してはどうか伺う。</p> <p>(2) 開所時間の対応について</p> <p>① 子育て支援センターを土曜日に開放してはどうか伺う。</p> <p>② 保育所においては日曜日保育を実施してはどうか伺う。</p> <p>(3) 災害対応について</p> <p>① 地震等の災害が発生した時の子育て関連施設における対応を伺う。</p> <p>② 災害対応のため、子育て関連施設に備蓄品を備えてはどうか伺う。</p> <p>2. 病児保育について</p> <p>(1) 現状と課題を伺う。</p> <p>(2) 病児保育の箇所を増やしてはどうか伺う。</p> <p>3. 屋内遊び場について</p> <p>(1) 利府町中央児童センター「ぺあくる」では、町の特産品である梨をモチーフにした大型遊具「ぼっちぱーく」を設置している。岩沼市でも今後大型遊具を設置する場合、岩沼に愛着が持てる遊具を設置してはどうか伺う。</p> <p>(2) 企業版ふるさと納税を活用し大型遊具を設置する場合、ネーミングライツを実施してはどうか伺う。</p> <p>(3) 既存の施設を含め、おむつの自動販売機を設置してはどうか伺う。</p> <p>4. 屋外遊び場について</p> <p>(1) 猛暑で遊具が熱くなり使えない時の対応について</p> <p>① どのように対応しているか伺う。</p> <p>② SNSなどで事前に周知をしてはどうか伺う。</p> <p>(2) 今後遊具の改修や増設をする際、熱を吸収しづ</p>	<p>市長</p>
------------	----------	---------------	--	-----------

(同)	1	岡田 みつえ	<p>らい色や素材等の遊具にするべきと思うが見解を伺う。</p> <p>(3) ベンチ等の休息場所の整備状況について</p> <p>① ベンチなどが無い公園は何か所あるのか伺う。</p> <p>② 乳幼児を連れて徒歩で外出する際、公園で一時的に休息できるよう配慮するべきと思うがどうか伺う。</p> <p>5. アンケート調査について</p> <p>(1) 令和6年7月1日から7月31日まで実施した「子どもの遊び場の整備に関するアンケート調査」について伺う。</p> <p>① ホームページには、「岩沼市では現在、子どもの遊び場の整備を検討しています。整備に係る検討の参考とさせていただくため、アンケート調査にご協力ください。」とあるが、今回アンケート調査を行った経緯について伺う。</p> <p>② 集計結果を今後どのように活用していくのか伺う。</p>	市長
5	8	大友 健	<p>制度の変更に対応していない「区長制度」について</p> <p>1. 区長の業務について</p> <p>(1) 区長業務の現況について</p> <p>① 従来と同様だが、何人いて、何をやっているのか。</p> <p>② 区長はどのようにして選ばれるのか。</p> <p>③ 区長不在の行政区もあるのか。</p> <p>④ 町内会長との兼務区長は何人いるか。</p> <p>(2) 謝礼金（報償金）の額及び平均並びに合計額について伺う。</p> <p>(3) 私人に払う報償とは何に対する弁償か。</p> <p>(4) 業務内容と比べて、経費が多すぎないか。</p> <p>(5) 広報いわぬまの配布について</p> <p>① 町内会に依頼している例が多いのではないかと。何件か。</p> <p>② 町内会非加入世帯に配布漏れがあるのではないかと。</p> <p>③ 配らない区長に報償費を支払うのはどういふことか。</p> <p>2. 令和2年4月の区長制度変更について</p> <p>(1) どこが、何がどう変わったのか。</p> <p>(2) 国はなぜ制度を変えたかと受け止めたのか。</p>	市長

<p>(同)</p>	<p>8</p>	<p>大友 健</p>	<p>(3) 存在理由がなくなると判断されたのではないか。</p> <p>(4) 変更から4年。市の対応が鈍いと感じられるが、なぜか。</p> <p>3. 区長制度の廃止について</p> <p>(1) 財政的にも喫緊の課題であり、早急に廃止すべきではないかと思うが、どうか。</p> <p>(2) 廃止して、その財源を市民会館駐車場有料化の中止・撤回に充当してはどうか。</p> <p>(3) 人材は町内会執行部に充てるなど、体制強化してはどうか。</p> <p>(4) 今後区長を選出できなくなる町内会はどれぐらいと見込まれるか。</p> <p>(5) 区長制度を廃止して、広報の配布は町内会と契約してはどうか。</p> <p>(6) 区長制度に係る経費を町内会の強化に充てる考えはないか。</p> <p>(7) 区長会の内部的な検討結果はどうなったのか。</p>	<p>市長</p>
			<p>各種会費（寄附）の任意性について</p> <p>1. 日本赤十字社活動資金（会費）について</p> <p>(1) 区長や社会福祉課が絡む根拠は何か。</p> <p>(2) 整いすぎた領収書・データはいつごろからか。事実上の強制ではないか。</p> <p>(3) 集金の現場では、任意性に疑問が提起されている。気にならないか。</p> <p>2. 市社会福祉協議会の会員会費などの寄付金・募金の集金について</p> <p>(1) 町内会に頼り切る集金は、いわばコストがゼロ。これでいいのか。</p> <p>(2) 町内会の世帯数の6掛け、7掛けといった、町内会費からの納め方もあるようだが、任意性と矛盾するのではないか。</p>	<p>市長</p>
<p>6</p>	<p>3</p>	<p>大村 晃一</p>	<p>ハナトピア岩沼のリニューアル計画状況について</p> <p>1. ハナトピア岩沼のリニューアルは、今年度は設計や計画段階となっており、来月には来年度の予算編成が始まる時期となる。そこで、現在の進行状況などについて伺う。</p> <p>(1) 来年度から工事が始まるが、設計や計画は順調に進んでいるのか伺う。</p> <p>(2) 事業費や工期計画について</p> <p>① 想定している総事業費は現段階でどの程度</p>	<p>市長</p>

<p>(同)</p>	<p>3</p>	<p>大 村 晃 一</p>	<p>を予定しているのか伺う。</p> <p>② 事業財源は、どのように確保するのか伺う。</p> <p>③ 近年の資材価格高騰などの影響について</p> <p>ア 事業計画などにおいて導入予定の遊具などの種類や数量の変更や修正への懸念についての考えを伺う。</p> <p>イ 民間施設の工事では工事計画の中止や延期になっている事案もあるが、その辺の懸念はどのように考えているのか伺う。</p> <p>(3) 有料化エリアについて</p> <p>① 令和5年11月定例会での一般質問では、「遊び場のところを一部有料といった提案もいただいている。」との答弁があったが、現状を伺う。</p> <p>② 令和6年2月の議員全員協議会で、料金形態については1回600円、ただし岩沼市民と他市町村居住者で差別化を図るため、市民には月1,000円ないし2,000円でマンスリーパスを販売することを考えているとの説明があったが、変更の有無を伺う。</p> <p>③ 市内居住の有無での差別化の他に、減免対象者などは考えているのか伺う。</p> <p>(4) 遊戯エリアについて</p> <p>① 屋内遊戯エリアとして、既存の各部屋はどのようなスペースになるのか伺う。</p> <p>② 屋外遊戯エリアについて</p> <p>ア インクルーシブ遊具などを設置予定と伺っているが、どのようなものを設置するのか伺う。</p> <p>イ 水遊び場のエリアはどのような内容になるのか伺う。</p> <p>③ 屋内外問わず、遊具遊び以外で、どのような手法で子どもたちに過ごしてもらおう計画があるのか伺う。</p> <p>(5) 遊戯エリア以外の敷地内の活用計画について</p> <p>① 常設予定の産直市場やコミュニティカフェについて</p> <p>ア オープン時期はいつになるのか伺う。</p> <p>イ 運営する事業所の選定はどうなるのか伺う。</p> <p>② 農村環境改善センターから農産加工研究室</p>	<p>市 長</p>
------------	----------	----------------	--	------------

(同)	3	大 村 晃 一	<p>の機能を移した加工室を整備する予定となっているが、機能の内容を伺う。</p> <p>③ リニューアルに合わせ、現在敷地内にある温室ハウスの活用として、子どもたちが昆虫など自然と触れあうことができる仕組みを構築してはどうか伺う。</p> <p>(6) 運営管理について</p> <p>① 運営の人材について</p> <p>ア 施設全体としては、様々な役割を持ったスタッフで運営することになると思うが、遊戯エリアなどで直接子どもたちと関わるスタッフは常時何人程度を想定しているのか伺う。</p> <p>イ 以前の説明では、地域住民や団体なども関わり、連携していくとのことだったが、子どもたちとの関わり方はどのように考えているのか伺う。</p> <p>② 利用人数の把握や受付の体制について</p> <p>ア 有料エリア利用者の受付方法及び体制について伺う。</p> <p>イ リニューアル後の施設全体又はエリアごとの利用者数は、施設を運営、維持管理していく上で参考となるバロメーターだと考えるが、どのように把握していくのか伺う。</p> <p>(7) エフエムいわぬま基地局（ミニFM棟）について</p> <p>① 工事期間中はハナトピア岩沼を閉館し、市民などの利用や進入ができない状態になると聞いているが、工事期間中の基地局への対応はどのようなになるのか伺う。</p> <p>ア 工事期間中、職員や番組収録のための市民の出入りへの対策はどうするのか伺う。</p> <p>イ 番組収録時などへの防音対策について伺う。</p> <p>ウ 電気や水道の供給はどのように対応するのか伺う。</p> <p>② 子どもたちの遊び場として、施設全体としてリニューアルする形で進めると思うが、館内と併設しているエフエムいわぬまの基地局は今後どのようにする予定なのか伺う。</p>	市 長
-----	---	---------	---	-----

(同)	3	大村晃一	<p>2. 子どもの遊び場のアンケートとの関わりについて</p> <p>(1) 教育民生常任委員会として7月に行った子育て中の市民との意見交換会でも屋内の遊び場や水遊びができる場所を求める意見など、ハナトピア岩沼のリニューアルで予定している内容を求める声が多くあった。岩沼市は7月1日から7月31日まで、「子どもの遊び場の整備に関するアンケート調査」を行っていたが、どのような回答が多かったのか伺う。</p> <p>(2) アンケート結果の内容をハナトピア岩沼のリニューアルへ向けて反映する予定はあるのか伺う。</p> <p>3. 近隣自治体でもショッピングモール内に新たな屋内の遊戯場を整備する計画があると聞いている。定期的に本市が先にオープンする形になる可能性があるが、今後、近隣自治体などでも屋内遊戯場などができる場合、飽きられないような差別化も必要と考える。リニューアル後のこの施設について、差別化が図れる点は何だと考えるか伺う。</p>	市長
7	11	佐藤一郎	<p>岩沼市の移住・定住の取組について</p> <p>1. 東京23区内に在住、または東京圏在住で23区内に通勤する方が岩沼市に移住し、対象求人へ就業する等の一定の要件を満たす場合に、世帯100万円、単身60万円の支援金を支給する移住支援金制度がある。岩沼市への移住者について伺う。</p> <p>(1) 最近の移住件数と人数、支援制度の申請件数について伺う。</p> <p>(2) 移住した世帯が岩沼市を選んだ理由について伺う。</p> <p>2. 移住・定住に係るシティプロモーションについて</p> <p>(1) 移住・定住に係るシティプロモーションの取組について伺う。</p> <p>(2) 7月27日(土)に開催した「2市2町合同移住フェア」のプロモーション内容について伺う。</p> <p>(3) 上記移住フェアは今後どのように取り組んでいくのか伺う。</p> <p>3. 宅地開発に向けた取組について</p> <p>市総合計画に掲げる将来人口の実現に向けた短期的な取組として、駅周辺を含む中心市街地の宅地開発促進に向けた可能性調査について伺う。</p> <p>4. 各自治体では移住・定住に支援策を講じている。</p>	市長

(同)	1 1	佐藤 一郎	<p>「岩沼市に住みたい、住んでみたいまち」を実現するための支援策について伺う。</p> <p>(1) 名取市では令和6年度より定住促進の施策として若い世代への支援、奨学金返還支援、自宅購入補助などを行っている。岩沼市としての移住・定住に向けた支援策について伺う。</p> <p>(2) 東松島市では、移住コーディネーターを配置するなど移住・定住に向けたプロモーションを進めている。当市においても移住支援を担当する職員を配置してはどうか伺う。</p> <p>(3) 若い世代が岩沼市を選んでくれるようなPR、支援策が必要である。移住定住政策について市長の見解を伺う</p>	市長
			<p>空き家の利活用に係る取組について</p> <p>1. 令和4年度の宮城県内の空き家率は12%、岩沼市内は10.6%となっている。子育て世代へリフォームした空き家を貸し出している自治体もあるが、当市における空き家の利活用の状況について伺う。</p> <p>(1) 将来の空き家問題にならないために、令和4年12月に相続に関する重要なポイントを解説する住まいの終活セミナーを開催した。その後の住まいの終活セミナーの開催状況について伺う。</p> <p>(2) 高齢化、相続、商店の空き店舗など空き家が増加している。空き家対策として、不動産団体と情報共有が必要なことから協議会を組織するということがあったが、現在の状況について伺う。</p> <p>(3) 空き家・空き地バンクを設置し、空き家や空き地の利活用を促進してはどうか伺う。</p>	市長
8	6	佐藤 剛太	<p>中心市街地活性化について</p> <p>1. まちなか居住の推進について</p> <p>(1) 総合計画では、令和15年の市の人口目標値を45,000人と掲げているが、令和15年の地区別(中央部・西部・東部)の人口はどのように予測しているのか見解を伺う。</p> <p>(2) 現在、中央部の人口は20年前と比較すると大きく減少しているが主な要因はどのようなことが考えられるのか伺う。</p> <p>(3) 中央部での人口減少が進む中、中心市街地の利便性の高いエリアを指定してまちなかでの居住を推進し、定住者の拡大を図ることが必要と考えるが見解を伺う。</p>	市長

(同)	6	佐藤 剛太	<p>(4) まちなか居住を推進するために様々な支援制度を活用して定住者の拡大を図るべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>① 親世帯と子育て世帯が近居又は同居するための住宅取得に伴う費用を助成する支援制度について伺う。</p> <p>② 市内に自ら居住するための中古住宅を新たに購入し、リフォーム工事に係る経費を助成する支援制度について伺う。</p> <p>③ 所在する空き家の除去を促進することにより、空き家跡地の利活用を図るため、空き家の除去に要する経費の一部を助成する支援制度について伺う。</p> <p>④ 中心市街地活性化事業エリアにおける優良な住宅地の供給を促進し、将来にわたって定住人口対策を講じながら中心市街地活性化を促進するため、中心市街地で新たに宅地分譲する経費の一部を助成する支援制度について伺う。</p> <p>2. 岩沼駅周辺活性化について</p> <p>(1) 平成 23 年に岩沼駅前広場の整備を行ったが、今後岩沼駅周辺の開発や整備についてどう考えているのか見解を行う。</p> <p>(2) 今後の岩沼駅前周辺の利活用について、駅周辺の土地を有する地権者や民間企業から意向調査などは行っているのか伺う。</p> <p>(3) 岩沼駅前周辺の活性化について、市民からの声や意見をどのように捉えているのか伺う。</p> <p>(4) 岩沼駅駐輪場について</p> <p>① 岩沼駅西口駐輪場をさらに多くの市民が利用しやすい駐輪場にするために整備すべきと考えるが、見解を伺う。</p> <p>② 岩沼駅東口に公営の駐輪場の整備が必要と考えるが、見解を伺う。</p> <p>3. 中心市街地のにぎわいについて</p> <p>(1) 中心市街地のにぎわいについて本市の考えを伺う。</p> <p>(2) 現状、中央商店街では空き店舗などが増加しているが、今後のにぎわいの再生について伺う。</p> <p>① これまでの取組や本市の見解を伺う。</p> <p>② 今後の取組を伺う。</p>	市長
-----	---	-------	---	----

(同)	6	佐藤 剛太	<p>4. 中心市街地活性化計画の策定</p> <p>(1) 今後の市内中心市街地の「まちなか居住の推進」や「駅周辺の活性化・有効な利活用」「にぎわいの拡大・再生」などの市の方針を示す計画の策定が必要と考えるが、見解を伺う。</p>	市長
9	9	布田 恵美	<p><u>こども食堂への支援について</u></p> <p>1. 「こども食堂」活動を大きく社会活動と捉えて、平成30年以来、一般質問で10回ほど継続的に取り上げ、その活動の支援のあり方について提案してきた。この間、コロナ禍によって活動形態が一同に会しての会食形式から予約制での弁当配布や食材提供に移行した期間もあった。昨年コロナが5類になったことで、現在は以前の会食形式も再開しながら、幅広い世代の交流の場としての「地域食堂」としてコミュニティ維持活動へ新たな広がりを見せていることも見聞きしている。</p> <p>(1) 市内で活動する団体が5団体ほどあるが、市としての支援策はどのようなになっているのか。</p> <p>① 現在、フードドライブは年2回開催している。令和4年第6回定例会で、通年の回収ボックス設置を提案し、その時の答弁では「フードバンク団体と協議させていただいております。」とのことであったが、現状を伺う。</p> <p>② 令和5年第3回定例会で、こども食堂活動の中で提供品保管場所について難儀していることへの支援を求めた。「市として何ができるのか、考えてまいりたい」との答弁であったが、どのように検討してきたか伺う。</p> <p>(2) ハブ拠点新設について</p> <p>こども食堂に携わるボランティアスタッフは、比較的時間に余裕がある世代が中心になっている。活動を始めてから7年目を迎える団体もあり、年齢的に自動車運転免許返納や遠方までの移動が難しくなっている実情がある。</p> <p>① 先日行われた関係団体での意見交換会の中で、活動関係者から「市外にある拠点NPOフードバンクへ出向いての提供品調達も困難を感じる」という切実な声が多数聞かれた。市内又は近隣で提供品保管場所が確保できれば、そちらをハブ拠点として市内団体や仙南での支援団体が安心して活動に向き合えらと考える</p>	市長

(同)	9	布田 恵美	<p>が、何らかの支援を考えてはどうか。</p> <p>② こども食堂団体に関わる支援を必要とされる方には、ひとり親家庭だけではなく、高齢者や様々な事情で生活困窮の方、生活自立途上の方などがおられる。時に緊急的な支援の要請にも応じている中で、支援提供品を適切に備蓄し保管する場所の確保は急務と言える。市長の考えを伺う。</p>	市長
			<p>おくやみ支援について</p> <p>1. おくやみ窓口設置について</p> <p>(1) 山形県天童市では、時間帯を指定しての予約制で手続サポートを行っている。利用の感想を聞くと「満足」「ほぼ満足」の声が約 87.5%、「普通」は約 12.5%とアンケート結果にある。「職員が同行してくれるので心強かった」との声もある。岩沼市内在住の高齢の親御さんを見送った方は、自身も 70 代に差しかかり「家族や親族であっても、仕事の都合で遠方に暮らす。1 人で行う手続が不安になった」と話された。ますます高齢者が増える今後に向けて何らかのサポートを講じていくことが必要と思うが見解を伺う。</p> <p>(2) 市民サービス向上を図るため「おくやみ窓口」を設置してはどうか伺う。</p> <p>2. おくやみハンドブックについて</p> <p>(1) 煩雑だという声もある葬儀が済んだ後の諸手続について、御遺族の皆さんの負担を少しでも軽減するために、主に市役所での諸手続を御案内する「おくやみハンドブック」を作成してはどうか伺う。</p>	市長
10	5	植田 美枝子	<p>マイナンバーカードとマイナ保険証について</p> <p>1. マイナンバーカードについて</p> <p>(1) 現在の交付率を伺う。</p> <p>(2) 年代別の交付率を伺う。</p> <p>(3) 今後の見通しを伺う</p> <p>(4) 申請したくともできない人や申請したくない人にどのように対応していくのか伺う。</p> <p>2. マイナ保険証について</p> <p>(1) マイナ保険証の利用登録件数はマイナンバーカードの発行数の何パーセントか伺う。</p> <p>(2) マイナ保険証のメリットを伺う。</p> <p>(3) 社会保険、国民健康保険、後期高齢者医療保険</p>	市長

(同)	5	植 田 美枝子	<p>など全ての健康保険がマイナ保険証へ移行されるのか伺う。</p> <p>(4) 生まれたばかりの赤ちゃんも対象か伺う。</p> <p>(5) 健康保険証発行終了に伴う影響と本市における対応について</p> <p>① 保険証発行終了後、マイナ保険証の利用登録がない方はどうなるのか伺う。</p> <p>② 厚生労働省は、保険証の発行終了後は有効期限があるものでも紛失などによる再発行を含め新たな保険証は発行しないとしているが、当市も同じ方針か伺う。</p> <p>③ 手元にある有効な健康保険証は最長1年間使用可能だが、全ての人を移行するのに十分な時間とは思えないが見解を伺う。</p> <p>④ マイナンバーカードの健康保険証利用は市民生活に直結している問題であり、しっかりと周知し、寄り添った支援が必要だと思うがどうか伺う。</p> <p>⑤ 年代によってはマイナ保険証が何かも理解できていない人も多いと思う。12月2日からマイナ保険証を基本とする仕組みに移行することに伴い手続が必要となることを具体的にどのように周知するのか伺う。</p> <p>⑥ 周知するため、チラシ・ポスター・院内掲示・ホームページ掲載・動画発信・郵便など、できること全ての手段を使うべきと思うがどうか伺う。</p> <p>⑦ 相談窓口を開設して直通の電話番号での対応をすべきと思うがどうか伺う。</p> <p>3. 厚生労働省はマイナンバーカードを保険証として利用できるシステムの導入を医療機関と薬局に義務付けており、導入費用の補助もしている。岩沼市内の医療機関と薬局への導入状況を把握しているのか伺う。</p> <p>4. スムーズに導入できるよう、国の補助金に加えて当市独自で補助金を出すことで導入を促進できると思うがどうか伺う。</p> <p>5. マイナ保険証の利用登録を解除するための申請が本年10月に開始されるが、当市でも同様に開始されるのか伺う。</p>	市 長
-----	---	---------	---	-----

(同)	5	植 田 美枝子	<p>ふるさと納税について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和6年度のふるさと納税の目標額を伺う。 2. 令和2年度から今年度までのふるさと納税額の推移を伺う。 3. 企業版ふるさと納税を増やすために実施していることはあるか伺う。 4. 企業へのアプローチはどのように行っているのか伺う。 5. 岩沼市内にある工場や倉庫を持つ会社の本社にふるさと納税のアプローチを続けてはどうか伺う。 	市 長
1 1	4	高 梨 明 美	<p>マイナ保険証の普及と利用促進等について</p> <p>今年の12月2日から従来の「健康保険証」は新規発行されなくなり、その後は「マイナンバーカード」での保険証利用を基本とする仕組みに移行していく。市民の方々が安心して「マイナ保険証」を利用できるよう、利用することによるメリットや質の高い医療を受けるための基盤となることなど、正しい情報を丁寧に発信していくことが必要と考える。そこで、以下の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. マイナ保険証利用促進のための広報活動の取組について <ol style="list-style-type: none"> (1) 本市の現在のマイナンバーカードの保有率と健康保険証としての利用率を伺う。 (2) 7月4日に厚労省保険局医療介護連携政策課より「マイナンバーカードの健康保険証利用の促進に向けたご協力をお願いについて」という事務連絡が発出されている。本市の利用促進の取組状況を伺う。 (3) 12月に向けての広報活動の強化と、正しい情報の発信が必要と考えるがどうか伺う。 (4) 市内の医療機関・薬局におけるカードリーダー設置状況及び利用状況を伺う。 2. マイナンバーカードを保有していない方への対応について <ol style="list-style-type: none"> (1) 12月2日以降、健康保険証が新規発行されなくなり、「マイナ保険証」に移行することが国から示されたことで、マイナンバーカードの申請や交付の状況に影響があったか伺う。 (2) 申請はしたが交付に至っていないケースについて伺う。 <ol style="list-style-type: none"> ① 件数を伺う。 	市 長

<p>(同)</p>	<p>4</p>	<p>高 梨 明 美</p>	<p>② どのように対応していくのか伺う。</p> <p>③ 受け取りに来ることが困難な高齢者等に訪問して手渡してはどうか伺う。</p> <p>(3) 商業施設等へ出張し、まだマイナ保険証の手続きをしていない方のサポートと並行してマイナンバーカードの取得支援を行ってはどうか伺う。</p> <p>(4) 現在総務省では、来庁が困難な方に対する「施設等に対するマイナンバーカードの取得支援策」を提示しており、将来的な「マイナ保険証」による医療（医療サービス）を考えると、希望する市民に対して取得の機会を提供することが非常に重要であると考えます。</p> <p>① 本市における「施設等に対するマイナンバーカードの取得支援策」の取組状況を伺う。</p> <p>② このような支援があることを周知することが重要であると考えますがどうか伺う。</p> <p>③ 希望する方がマイナ保険証を取得できるように介護施設や個人宅等へ出向く出張申請受付をしてはどうか伺う。</p>	<p>市 長</p>
			<p>投票率向上のための取組と環境整備の推進について</p> <p>1. 近年における各種選挙の投票率は、全国的に低迷している状況にあり、とりわけ10代、20代の若年層の投票率は全国的に低下傾向にある。投票率の低下は看過できるものではなく、本市においても重要な課題であると考えが見解を伺う。</p> <p>2. 投票率向上に向けた取組を伺う。</p> <p>3. 期日前投票所の場所について 現在本庁舎6階に期日前投票所を設けているが、高齢の方や足の不自由な方から不便だとの声がある。1階の旧食堂を利用することはできないのか伺う。</p> <p>4. 投票率向上のため、駅前や量販店への期日前投票所の設置や移動投票所の配置など、投票環境の整備を積極的に行うべきと考えますがどうか伺う。</p> <p>5. 現在は、投票日当日は指定投票所での投票と決まっているが、投票所の共通化を検討してはどうか伺う。</p> <p>6. 投票率向上のための環境整備にはデジタル化を進めることが必要と考えますがどうか伺う。</p> <p>7. 高齢者や障害者の投票をサポートするため、手助けしてほしい内容を記入する投票支援カードを作</p>	<p>市 長 選 挙 管 理 委 員 長</p>

(同)	4	高梨明美	成している自治体が増えている。本市でも取り組むべきと考えるがどうか伺う。 8. 視覚障害者の方が自分で投票用紙に記入するための投票用紙記入補助具を導入してはどうか伺う。	市長 選挙管理委員長
12	10	渡辺ふさ子	<p>女川原発再稼働について</p> <p>1. 今年1月の能登半島地震で、志賀原発が立地する志賀町では海面隆起や土砂崩れで道路寸断、家屋倒壊などにより避難計画が役に立たなかった。現状を見れば半島部に立地する女川原発が万が一の際、住民避難ができなくなる危険は明白ではないか。認識を伺う。</p> <p>2. 東北電力が女川原発敷地内に使用済み核燃料の乾式貯蔵施設を設置する計画を打ち出した。乾式貯蔵施設の使用済み核燃料を再処理して活用するという原子力政策が破綻したからである。「核のゴミ捨て場」を県民に押し付けるものであり、説明会の開催と、設置には同意しないことを知事に求めるべきではないか伺う。</p> <p>3. 東北電力が再稼働を目指している女川原子力発電所2号機は被災原発であり、老朽原発である。事故を起こした福島原発と同じ沸騰水型で、危険のリスクは大きく再稼働などとんでもない。県に対し、地元同意の取消と専門家による安全性検討会の再度の設置を求めるべきではないか伺う。</p>	市長
			<p>災害対策について</p> <p>1. 災害を生き延びた後に身を寄せる避難所で、命を落とすという深刻な現実がある。そのような事態を防ぐために作られたのが、人道憲章と人道対応に関する最低基準「スフィア基準」でアフリカ・ルワンダの難民キャンプで多くの方が亡くなったことを受けて、国際赤十字などが1997年に作った。紛争や災害の際の避難所の環境について“最低限の基準”を定めている。スフィア基準に対する認識と岩沼市の避難所運営マニュアルにスフィア基準が盛り込まれているか伺う。スフィア基準に対する認識を伺う。</p> <p>2. スフィア基準では居住空間について「1人あたりのスペースは、最低3.5平方メートル（およそ2畳分）確保すること」となっているが現状を伺う。</p> <p>3. スフィア基準ではトイレについて「20人に1つの割合で設置」「男性と女性の割合は1対3」となっ</p>	市長

(同)	10	渡辺ふさ子	<p>ているが現状を伺う。</p> <p>4. 指定避難所の小中学校の防災機能について（令和6年3月31日現在の防災資機材一覧による）</p> <p>(1) 停電時の電力確保について発電機はそれぞれ1台ずつ設置されているが、太陽光発電を備える学校はあるか伺う。</p> <p>(2) 断水時に使用可能なマンホールトイレや携帯トイレの設置状況を伺う。また、何人分、何日分を想定しているか伺う。</p> <p>(3) 簡易ベッドについて</p> <p>① 3台から4台が設置されているが、どのようなベッドか伺う。</p> <p>② 少ないと思うが増やす計画はあるか伺う。</p> <p>③ 段ボールベッドについて</p> <p>ア 設置されているか伺う。</p> <p>イ 段ボールベッドへの見解を伺う。</p> <p>ウ 収納スペースも確保できる。ベッドを増やすのに備蓄を検討してはどうか伺う。</p> <p>5. 家具転倒防止金具の購入費補助の対象を拡大してはどうか伺う。</p>	市長
-----	----	-------	--	----